

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年三月度 入選句（投稿総数二九三八句・小中学投句数二三七五句）

特選

選者 遠藤 幹郎

卒業式最後の呼名 嘯みしめる 美濃加茂市 水谷 蒼空(高一)

卒業式という作者にとつて忘れられない一日に味わった実体験に基づく緊張感あふれる一句です。「最後の呼名 嘯みしめる」がいいですね。

中学校生活修了の証である卒業証書を受けとる前の一瞬を「嘯みしめる」の一語が見事に表現できました。「最後の呼名」という表現も、読者にさまざまな想像をふくらませてくれることばです。

見つけたぞ草の中からつくしさん 大垣市 松岡 拓輝(小五)

「見つけたぞ」が、この一句を引き立てています。まだ、つくしの出るのが遅いようです。それでも草の中から見つけたのです。その発見の喜びの気持ちが、一緒に出かけた友達に叫び声となつて発せられたのです。また、そのつくしにも、喜びの気持ちをやさしく呼びかけているようです。

おひなさまかざりやふくがおもそうだ 大垣市 竹内 琴美(小四)

この句は、下五の「おもそうだ」が効いています。みなさんは、おひなさまを見て、このように感じたことはありませんか。この受けとめ方がこの作者らしさを示しています。かんむりをつけた内裏雛、十二単衣で着飾られた官女雛などひな段に飾られたおひなさまを見ての印象が素直に詠まれた一句です。

秀逸

はるのかぜぼくのぼうしをかえしてよ 大垣市 野呂 春翔(小二)

うちゆうへとすいこまれそう冬の星 大垣市 野田 希愛(小四)

お母さんいつも笑顔で福は内 大垣市 江崎 智也(小五)

バレンタイン隠した想い伝わって 美濃加茂市 山田 昇吾(高一)

しゃぼん玉笑顔うつして空へ行く 美濃加茂市 佐橋 心凪(中三)

ひなまつりおめかししてるおひなさま 大垣市 松岡 ほのか(小五)

ちようとぶよおはなのとこにとまったよ 大垣市 山田 ゆず(小三)

チューリップ赤白黄色三しまい 大垣市 川地 こうき(小三)

春一番せんたくものをとばしてく 大垣市 よこかわ かい(小三)

ひな祭りおだいらさまのすまし顔 大垣市 森 麻亜子(小四)

入選

そらみあげあるいてみたいにじのはし 大垣市 北村 泰規(小二)
 きたかぜのあたったおとがなりひびく 大垣市 岩田 一輝(小五)
 北風は私のほほをそめている 美濃加茂市 小島 花歩(中三)
 帰り道雪ふみながら口ずさむ 美濃加茂市 木股 紗弥(中三)
 入学式色とりどりのランドセル 大垣市 上野 辰真(小五)
 せつぶんにまめをたべたよななこだけ 大垣市 藤原 琉成(小二)
 いぶき山まつ白ぼうしで春をまつ 大垣市 高橋 美紀(小三)
 みちばたにぼっとさいてるタンポポさん 大垣市 山田 ゆず(小三)
 目がかゆい春のおとずれびんかんだ 大垣市 こじま たける(小三)
 三本の目ぐすりならべかふんしよう 大垣市 早野 立き(小三)

入選

うぐいすの歌声聞いてひと休み 大垣市 みのうら きずな(小四)
 さくらさくさかみちのぼつてぜっけいだ 大垣市 岡島 悠佳(小四)
 妹が笑顔でほおぼるひなあられ 大垣市 牛田 温斗(小五)
 妹よ大きくなあれひなまつり 大垣市 出井 陽(小五)
 子守り歌風に合わせて風車 大垣市 川地 亜依佳(小六)
 卒業式終ればぼくたち六年生 大垣市 傍島 倫(小六)
 ひなまつりきょうはわたしがはれすがた 大垣市 にし村 ゆう(小二)
 はちさんがいっぱいはなをさがしてる 大垣市 浅野 夏実(小二)
 さらさらと川の中からはるの音 大垣市 河本 瑛誠(小二)
 チューリップみんななかよくゆれている 大垣市 河合 俐空(小二)

選者吟

享保雛袖口すこしほころべり 幹郎